

6月定例市議会一般質問事項

順	議員名	質問事項
1	南畑士ち代 (日本共産党)	・コロナ禍での支援策について ・学童保育について
2	中庄谷孝次郎 (興志クラブ、維新の会)	・コロナ禍における行政改革について ・GIGAスクール構想について
3	森下さち子 (日本共産党)	・中学校給食について ・IRカジットについて
4	中村元彦 (自由民主党)	・産業振興、子供の健康対策について ・児童生徒の自殺対策について
5	坂口美子 (日本共産党)	・「生理の貧困」と環境整備について ・介護保険事業について
6	園内浩樹 (公明党)	・防災対策、養育費の不払い対策 ・水道行政について
7	井本有一 (日本共産党)	・SDGsについて ・生活保護行政について
8	山本忠相 (民主クラブ)	・本市の財政状況と見通しについて ・市中経済の再生について
9	中村あじと (日本共産党)	・買物難民、買物困難者対策について ・コロナ対策について
10	松井紀博 (政和クラブ)	・着月建設行政に関して(木造中核 線のあり方と整備の現状)
11	ひめた高宏 (日本共産党)	・各種事業の進め方について ・障害者福祉について
12	山本 元一 (政和クラブ)	・糸川大堰問題に関して ・全国大会等の開催に対する補助制度

日本共産党

高齢者医療費2倍化法

日本共産党の田村智子政策委員は4日、記者会見で高齢者医療費2倍化法が成立したことについて「コロナ禍の下で高齢者の命をいかに守って

いくのが問題になるなかで、経済的負担を増やし、受診控えや健康費を押し上げる法律だと批判し「来年度の施行を止めるべく総選挙も含めて奮闘していく」と表明。田村政策委員は「現行の1割負担でも75歳以上の高齢者は、年収100万円以上の4割負担を押しつけていると指摘。「年金

も減らされ、介護の負担も多くなり、この国庫費の窓口負担まで2倍にするのだから国民の怒りが広がっている」と強調。政府は現役世代の負担軽減を平均で1ヶ月3日、一方で公費負担は年間1〜4割の増額で公財切り捨てる法律と指摘。

シンガポール公演

5月28日、和歌山演劇鑑賞会5日例会、トム・プロジェクト公演「Singapore Song」を見ました。ブルースの女王・淡谷のり子をモデルに戸田恵子演じる三上あい子と大和田隼演じるマネージャーが、審判本部に呼び出され、戦時下の衣装や曲目の制約を課せられてお

が、それらを拒否する一方、無償で激戦の外地や特高基地への慰問を続けます。兵士一人ひとりと自らのために歌い続ける戸田恵子の歌声が素晴らしい。笑顔で特攻に向かう少年兵をまみ出した当時の教育はホントに怖いと思いました。コロナにより昨年4月からこの5月に延期された劇団の熱意を感じた舞台でした。

東京・かじしか見聞録No.9

日本共産党の細田支部の会議に木村ひでこ議員と出席し、午後は支部の方とインドマイク宣伝に出ました。お孫さんを乗せるために自転車の取り付けたり子ども用のイスがインドマイクの台に付いたりだと笑って話してあげた方は、中学卒業後の集団就職で長野から出てきたと話してあげました。

私がマイクで話している周りで支部の方たちがどうも話をします。色々な話、ほとんど政策を訴えました。帰りは中二台の提防を自転車で走りました。三の台のついでがスカイシーが見えました。いつもも見えませんが思いは真実を隠らなかったのが残念です。見たのは、そのときだけでした。